

平成26年度からの共同利用・共同研究拠点 申請書 (案)

大 学 名				
申 請 者	学 長 名			
	本部所在地	〒		
拠 点 の 名 称	(例：○○○○○拠点)			
申 請 施 設 の 名 称	(例：○○○研究所)			
研 究 分 野	※共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入			
申 請 施 設 の 代 表 者	フリガナ		生年月日	昭和 年 月 日 (歳)
	氏 名			
	所属部署		役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
E - m a i l				
1. 共同利用・共同研究拠点の全体概要				
<p>(1) 共同利用・共同研究拠点の目的・概要</p> <p>※拠点の目的</p> <p>※拠点の全体計画の概要</p> <p>※拠点の目指す役割</p> <p>※拠点形成の必要性</p> <p>※ネットワーク型拠点の場合は、上記に加え、ネットワーク型拠点とする必要性についても記入</p> <p>※特色ある拠点として申請する場合は、上記の各項目において、建学の精神、地域の個性やニーズ、学問領域の新規性、災害からの復興や被災地支援等の特色を踏まえた内容を含めて記入</p>				
<p>(2) 期待される効果、意義</p> <p>※関連研究者コミュニティへの寄与</p> <p>※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与 (全国的な学術研究の発展への寄与)</p> <p>※若手研究者の育成への寄与 (当該分野における若手研究者育成の必要性)</p> <p>※ネットワーク型拠点の場合は、上記に加え、ネットワーク型拠点として期待される相乗効果についても記入</p>				

(3) 共同利用・共同研究拠点の体制

※運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）

※ネットワーク型拠点の場合は、上記に加え、共同利用・共同研究拠点の構成図と役割分担についても記入

2. 申請施設の概要

- ※申請施設の組織、人員、予算等
- ※申請施設における主な競争的資金の採択等の状況【別紙1】
- ※申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）【別紙2】
- ※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付

組織（組織図等）

人員（平成26年1月1日現在）

教授	准教授	講師	助教	助手	小計	技術職員	事務職員	研究員等	合計
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

※上段は申請施設に所属する専任教職員数を記入してください。下段()は兼任教員や非常勤職員等の人数を外数で記入してください。

※今後、拠点化にあたり、学内措置等により、人員の拡充等を予定している場合は、表を追加して予定の人員の内訳を記入してください。

人員（平成〇〇年〇月〇日現在（予定））

教授	准教授	講師	助教	助手	小計	技術職員	事務職員	研究員等	合計
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

予算（申請施設の運営経費等） ○, 〇〇〇百万円（24年度決算額）

※上の経費には、競争的資金等の外部資金は含めないで下さい。ただし、申請施設の運営に大きく関わっている競争的資金等の外部資金がある場合は、その内訳を余白に記入してください。

3. 共同利用・共同研究の状況

(1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況【別紙3】

(2) 共同利用・共同研究の参加者に対する支援体制

※研究室等の提供状況 等

(3) 運営委員会の状況
 ※運営委員会の共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割
 ※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(4) 共同利用・共同研究の課題の公募方法
 ※共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法
 ※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信
 ※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法
 ※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み

(6) 単年度の共同利用・共同研究への参加が見込まれる関連研究者数

(7) 申請施設が中心となった共同利用・共同研究の実績【別紙4】

4. 研究者コミュニティの状況
 ※関連する研究者コミュニティの分野
 ※関連する学会等の名称
 ※研究者コミュニティからの要望の概要（要望書等を別途添付）

5. 共同利用・共同研究拠点の運営に対する支援体制

(1) 学内の支援体制
 ※拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況
 ※学内予算の配分状況 等

(2) 事務体制
 ※拠点の事務体制について（組織図等を記入）

事務担当責任者	フリガナ 氏 名	所属部署 役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			

申請施設における主な競争的資金の採択等の状況

〇〇〇大学〇〇〇〇〇〇（申請施設名）

制度名	課題名	研究代表者	申請・採択状況	期間・予算規模
(例) 〇〇事業		〇〇 〇〇	採択	H21~H25 〇〇百万円
△△事業		△△ △△	採択	H22~H26 △△百万円
□□事業		□□ □□	採択	H23~H27 □□百万円
◇◇事業		◇◇ ◇◇	申請中	H26~H28 ◇◇百万円

（記入要領）

1. 申請施設で現在受け入れている主な競争的資金（他府省を含む）を記入すること
2. 「制度名」欄には、競争的資金制度（事業）等の名称を記入すること
3. 「研究代表者」欄には、各制度（事業）における研究代表者名を記入すること
4. 「申請・採択状況」欄には、各制度（事業）の申請・採択状況について記入すること
5. 「期間・予算規模」欄には、各制度（事業）の期間・予算規模（単位：百万円）を記入すること
6. 最初に採択されているものを記入し、その次に申請中のものを記入すること

申請施設におけるこれまでの主な研究実績（成果等）
（平成〇〇年度）

〇〇〇大学〇〇〇〇〇（申請施設名）

研究実績(成果等)の概要	研究代表者

※過去3年度（平成22～24年度）分の主な研究実績（成果等）を別葉で記入すること

共同利用・共同研究に供する施設、設備及び資料等の整備・利用状況
(平成〇〇年度)

〇〇〇大学〇〇〇〇〇 (申請施設名)

施設、設備及び資料等名	性能	概 要	利用者数	うち共同利用・ 共同研究者数
(例) 〇〇施設	○		(例) 人(学内) 人(学外)	人(学内) 人(学外)
〇〇設備	△		人(学内) 人(学外)	人(学内) 人(学外)
〇〇文献データベース			アクセス	—

※過去3年度(平成22~24年度)分の実績(整備・利用状況)を別葉で記入すること

※世界/国内最高性能(規模)を持つ施設・設備(資料等)の場合は、「性能」欄に○(世界最高)、△(国内最高)を記入し、「概要」欄にどの点が世界/国内最高性能(規模)であるのかを記入すること

申請施設が中心となった主な共同利用・共同研究の実績

〇〇〇大学〇〇〇〇〇（申請施設名）

1. 平成〇〇年度の主な共同利用・共同研究の概要

（平成〇〇年度総件数 〇〇件）

共同利用・共同研究課題名	共同利用・共同研究の概要

※過去3年度（平成22～24年度）分の実績を別葉で記入すること

2. 共同利用・共同研究者の受入れ状況（平成〇〇年度）

※ 当該申請施設が主催して行う共同利用・共同研究に参加した研究者の人数、延べ人数、所属機関数を記入すること（学内の研究者も含む）

※ 過去3年度（平成22～24年度）分の受入れ状況を別葉で記入すること

分類	概要 ※ テーマ、概要等を記載	人数	延べ人数 (人・日)	所属 機関数
(例) 一般共同研究				
施設等利用型共同研究				
研究会・研究集会				
合計				

注1：共同利用・共同研究者は以下の者を除き、共同利用・共同研究者の定義を、下の〈共同利用・共同研究者の定義、カウント方法〉欄に記入すること

- a 民間等の受託研究員制度、特別研究員制度等の他の制度で受け入れた研究者
- b 学生としての大学院生、外国人留学生等
- c 民間企業の研究者で当該企業の目的のために施設・設備及び資料等を利用する者

注2：延べ人数は以下の例を参考に考え、カウント方法を、下の〈共同利用・共同研究者の定義、カウント方法〉欄に記入すること

例1) 1つの共同利用・共同研究プロジェクトで2人が3日来所した場合

→ 人数2人、延べ人数6人・日

例2) 同一人物が2つのプロジェクト(A・B)に参加し、Aのために3日、Bのために4日来所した場合

→ 人数2人、延べ人数7人・日

注3：所属機関数は、実数（重複を取り除いた数値）で記入すること

〈共同利用・共同研究者の定義、カウント方法〉

※共同利用・共同研究者の定義、カウント方法を記入